

長野大学 リモート講義概要

前段 10:30 ~ 11:10

歴史的にみた長野大学を抱く塩田平を含む上田・小県地域の特徴

- 1.中世 「信州の鎌倉」「信州の学海」
- 2.近代 大正デモクラシーの牙城 「蚕都上田」

近代の上田・小県地域における青年たちが主体となって産み出した
新しい華

1. 新しい思想（「知る権利」）のもとに産み出された『時報』発行
2. 「児童自由画」という新しい教育を産み出したこと
3. 信濃（上田）「自由大学」という新しい教育を産み出したこと
4. 「農民美術」という新しい文化を産み出したこと
5. 信濃黎明会という新しい政治を産み出したこと

どのようにして産み出したのか

1. 時の知識人を積極的に呼び込み、ともに活動したこと
 - ・ 児童自由画・農民美術 山本 鼎 金井正・山越脩蔵
 - ・ 自由大学 土田杏村 金井正・山越脩蔵
 - ・ 信濃黎明会 吉野作造・新人会 小林泰一
2. 「蚕都上田」を背景に必要な資金を投入する地域社会があった

山越の思い

児童自由画・農民美術の仕事は、国民的意味を持つ仕事
その仕事に直接参加する機会に恵まれた私は、社会人として生
きるべき方向を示唆されたように思った。

「日本のオブローモフ」にならない

オブローモフ（地主の若主人）は大学教育を受け地位もあり金もある
環境に恵まれた境遇にあったが、思いついた仕事はするが、どれも成し
遂げえないで一生を終わる

後段 11:10～11:50

自由大学

1925.4.22 治安維持法

1.提唱・推進者 山越脩蔵

きっかけ 衆議院議員選挙活動 1920.5 総選挙 26歳

(憲政会 政友会)

普通選挙法 1925.5.5 ができる前の選挙活動への
反省

求めたこと 選挙権を有効に行使できる人になること

信頼できる助言者 土田杏村

2.土田杏村の考え（土田哲学講習会）

これからは考える人間、批判力のある人間をつくりあげてい
かないとこの世の中はよくなる。僕は系統的な学問をする
民衆教育機関をつくりたい。

学問を民衆のものとしたい。学問を空気の如く、水の如く我
々の周囲に豊かにしたいのだ

→ 山越「系統的民衆教育機関を自分たちの力でつくりたい」